

50の政策の達成状況



平成18年4月の市長選挙時に、安田市長が『日本の宝島・天草の創造』を天草市づくりの基本理念とするローカル・マニフェスト(地方政策宣言)を公表しました。この公表から4年目となることから、今回、ローカル・マニフェストに掲げられた50の政策の達成状況についてお知らせします。

■ローカル・マニフェストとは

ローカル・マニフェスト(地方政策宣言)とは、都道府県知事や市町村長などの選挙のときに、候補者が有権者に対して発表する「公約」のことで、候補者と有権者との「契約」ともいえます。

ローカル・マニフェストには、どのような政策を、いつまでに、どの財源を使って実現するか、ということなどがあらかじめ明記されており、すべての政策の達成状況などを評価・検証することが求められます。

■安田市長が公表した

ローカル・マニフェスト

平成18年4月の市長選挙時に、安田市長が公表したローカル・マニフェストは、次の7つのプロジェクトで構成されています。

- I 豊かな産業づくり
- II 魅力ある観光づくり
- III 暮らしやすい生活環境づくり
- IV 地域づくりと人づくり
- V 機能的な社会基盤づくり
- VI 環境にやさしいまちづくり
- VII ローカル・マニフェストの実現のための行財政改革と財源確保

また、7つのプロジェクトごとに、「集団営農組織」の拡充、「年間観光入込客数1,000万人の突破」「育児休業制度における財政支援」「地区振興会への職員の配置」など、全部で50の政策が掲げられています。

■50の政策の達成状況

ローカル・マニフェストに掲げられた50の政策の達成状況を達成度別(II下表)に見ると、「おおむね目標を達成したもの」が20政策、「事業に着手し成果が得られているもの」が16政策、「計画を策定し事業に着手しているが成果が得られていないもの」が12政策、「未着手または計画の検討段階」が2政策と、7割以上で成果が出ている状況です。

プロジェクトごとに見ると「機能的な社会基盤づくり」や「環境にやさしいまちづくり」、「地域づくりと人づくり」で成果が得られており、「豊かな産業づくり」や「行財政改革と財源確保」の達成度が比較的低くなっています。

※詳細は、本庁・企画課企画調整係 ☎1111内線1315へお尋ねください。

◆50の政策の期限・達成状況・達成度

政策	期限	達成状況	達成度
I・豊かな産業づくり			
1 「集団営農組織」の拡充	4年	平成18年度に天草市農作業受託組合等連絡協議会を設立しました。また、集団営農組織には機械購入に対する補助を行うなどの支援を行いました。さらに、平成20年度には営農組合(任意組合)が農業生産法人を設立しました。	B
2 「ふるさと宅急便事業」の展開	1年	平成18年度に市内の加工グループにふるさと宅急便事業に対する参加意向調査や打ち合わせ会議を実施しました。チラシを作成し、旧市町のふるさと会などに対し発送しました。平成20年度から、団体が行う特産品のPR事業に対して助成を行うこととしました。	B
3 リースハウスの新設と5カ年計画の策定	4年	平成18年度に「あまくさ農業を元気にするリースハウス5カ年計画」を策定し、計画に基づき毎年度整備を図っています。リースハウス建設実績=のべ54棟。	A
4 (仮称)『天草グリーンライフ・コミュニティ』の創出	4年	平成18年度にNPO法人グリーンライフあまくさを設立し、事業推進のための組織化を図りました。また、トラスト農場の整備(168a)や、シンポジウム(3回)・体験ツアー(9回)などを実施。	B
5 イノシシ解体処理施設の建設	4年	解体処理施設建設に向け、イノシシ肉の販売方法・商品開発の検討や、天草保健所などの関係機関と協議を行っています。	C
6 つくり育てる漁業の定着	1年	天草漁協と連携して、稚魚や中間育成した幼魚などの放流事業を実施しています。	B
7 水産加工企業の誘致	4年	市内における水産加工業の実態把握や県内外の企業誘致のため訪問活動を行っています。しかし、水産業の低迷などにより原料の確保が難しく企業誘致は厳しい状況です。	C
8 消費生活相談専門員の配置	1年	平成18年8月、本庁(別館)・商工観光課内に消費生活相談員を配置し、相談の受け付け(386件)や研修会(22回)を実施しています。また、同21年度からは3人体制とし、相談体制の強化を図っています。	A
9 有効求人倍率の上昇	10年	企業誘致促進条例を制定し、固定資産税の課税減免などを実施。また、地元事業者に対して、商工業設備投資資金利子補給などの事業を実施。*天草公共職業安定所の有効求人倍率=平成17年度・0.40倍、平成20年度・0.39倍。	C
II・魅力ある観光づくり			
10 年間観光入込客数1,000万人の突破	10年	テレビ、ラジオ、新聞などの広告・宣伝媒体を利用し、本市の観光情報やイベント情報などを発信しています。また、季節ごとの観光の魅力をPRするため、年間を通して観光イベントを実施し、観光客の誘致を図っています。	C
11 九州新幹線の全線開通に向けた県内観光地の連携強化	4年	県内の横軸連携を図るため、平成18年10月に阿蘇・熊本・天草観光推進協議会を設立。ポスターなどの作成や、3地域の観光案内所に圏域のパンフレットを設置するなど、情報の発信・共有を図っています。	B
12 法人としての天草市観光協会の設立	1年	平成19年7月に「社団法人・天草宝島観光協会」を設立しました。同協会では、観光PR事業、旅行商品の支援、旅行商品の開発のための招待や人材育成などを行っています。また、観光を通じて天草のブランド化を推進しています。	A
13 公設市場の開設	4年	平成19年度に本渡地区卸売市場整備促進協議会で作成した「本渡地区卸売市場整備構想」に基づき、3市場統合による総合市場整備を検討しました。現在、老朽化した天草漁協魚市場の整備について、漁協などと検討を行っています。	C
14 (仮称)『天草物産館』の設置	2年	平成19年度に市が事業主体として建設を予定していましたが見直し、同20年度にあまくさ農協・本渡五和農協が共同で事業主体となり、市も一部助成を行い直売所が建設されました。	B
15 下田温泉の活性化と滞在型観光の促進	4年	平成18年度からまちづくり交付金事業により観光交流センター(下田温泉ふれあい館ぶらっと)や温泉広場・五足の湯、さくら公園などの整備を行っています。	A
III・暮らしやすい生活環境づくり			
16 育児休業制度における財政支援	2年	国の制度である「中小企業子育て支援助成金制度」を活用していただけるよう、事業主に対して同制度の周知を図っています。	D
17 義務教育就学前までの医療費の全額助成	1年	平成18年度から、義務教育就学前までの乳幼児を対象に、医療費の一部負担額の全額を助成しています(受給者数27万528人、助成金見込み額5億2,348万円)。	A

※達成度…A=おおむね目標を達成したもの、B=事業に着手し成果が得られているもの、C=事業に着手しているが成果が得られていないもの、D=未着手または計画の検討段階、E=中止(見直し)

◆50の政策の達成度別・政策数(平成21年9月30日現在)

達成度別	政策数	A	B	C	D	E
		おおむね目標を達成したもの	事業に着手し成果が得られているもの	事業に着手しているが成果が得られていないもの	未着手または計画の検討段階	中止(見直し)
達成度別の政策数		20	16	12	2	0
プロジェクト別の内訳	I・豊かな産業づくり	2	4	3	0	0
	II・魅力ある観光づくり	2	2	2	0	0
	III・暮らしやすい生活環境づくり	6	1	1	2	0
	IV・地域づくりと人づくり	6	1	2	0	0
	V・機能的な社会基盤づくり	1	3	0	0	0
	VI・環境にやさしいまちづくり	3	0	1	0	0
	VII・ローカル・マニフェストの実現のための行財政改革と財源確保	0	5	3	0	0